



(写真) 災害図上訓練（自地図に防災上重要な施設・人材、要援護者のいる場所を書き込んでいく訓練）の様子

日頃からのつながりが 大きな力に…

阪神・淡路大震災の震源に近い淡路島北淡町では、震度7を記録し、多くの人が倒壊家屋の下敷きとなりました。しかし、北淡町では、地域の人々が日常の暮らしを通じてお互いのことをよく知っていたので、瓦礫の下に埋もれている人の位置を正確に推定し、速やかな救助活動を行い、当日中に住民の安否確認をすることができたそうです。

いざというときに地域の力を発揮し充分な対応をするためには、日頃から住民同士がコミュニケーションを深めていくことが大切です。

町会・自治会に加入すると

まず、地域の人たちと顔見知りになり、地域に住む人たちが互いに支えあい、気軽に協力できる温かい人間関係が育まれます。

そうした人間関係が育まれることで、災害が起きたときに大きな効果を発揮するだけでなく、見守りが必要な高齢者の発見や子どもの見守りなど、地域の事件や事故を未然に防ぐことがあります。

どうやって加入するの？

地域の町会・自治会には、どなたでも加入できます！

地域の町会・自治会に御連絡ください。

※お住まいの地域の町会・自治会が分からぬ場合は、福生市協働推進課（電話 551・1590）までお問合せください。

広告掲載スペース